

事業概要：インバウンド誘致で切り拓く麒麟のまち圏域の未来創造事業

継続

申請者	鳥取県鳥取市ほか6自治体					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	568,610千円 (183,069千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	日本遺産「麒麟のまち」にかかる文化財を活用した“歴史文化”と“自然”の融合による新たな魅力の創出を図り、圏域への観光客の誘客を目指す。インバウンド等受入体制整備と魅力発信により、観光消費の拡大等による持続可能な圏域の活性化を目指す。構成文化財の保存、活用に関わる圏域住民の地域に対する愛着や郷土愛を育み、人口減少や歴史・文化・伝統芸能等の衰退に歯止めをかけ、圏域の発展、経済の好循環につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日本遺産「麒麟のまち」の認知向上と地域活性化を目的に、推進体制を強化し、31の文化財の磨き上げや商品化・ブランド化を進めるとともに、多言語対応やガイドマップ整備、二次交通の充実などインバウンド受入環境を整備する。さらに、イベント開催や情報発信、食や体験コンテンツの創出により交流・関係人口を拡大し、ワークショップや出前講座を通じて伝統芸能の担い手育成と郷土愛の醸成を図ることで、持続的な地域活性化と文化継承につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 日本遺産「麒麟のまち」推進協議会の体制強化による地域活性化事業 ・日本遺産を活用した稼ぐ地域づくりを構築するための経費（負担金）：14,100千円 インバウンド等受入体制整備事業 ・インバウンド需要拡大事業（委託料）：44,336千円 ・その他14事業（委託料、需用費、使用料、補助金、負担金、光熱水費、手数料、備品費、工事請負費）：67,578円 歴史・文化・郷土芸能等を活用した圏域の魅力発信・普及啓発事業 ・多言語ガイドマップや映像により、圏域の魅力発信拠点を整備・運営するもの。 （委託料）：21,185千円 ・その他13事業（委託料、補助金、需用費、負担金、報償費）：34,441千円 人材育成事業 ・体験や交流などをとおして人材育成や人材発掘を進めるための経費 （委託料、補助金、需用費）：1,429千円						
主なKPI	①圏域を訪れる旅行者の観光消費額（+3,044円） ②鳥取県東部の外国人観光入込客数（+14,368人） ③「このへん共和国」会員登録数（+1,456人） ④日本遺産・麒麟獅子舞の保存継承プログラム参加者数（+25人）					URL	https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	